

工事の施工に伴う地元への対応について

工事名 : 令和2年度 河津下田道路 小鍋地区道路建設工事

地区名 下田地区
会社名 河津建設株式会社
主執筆者 監理技術者 惣田 直樹
(技術者番号 : 00249109)

1. はじめに

工事概要

本工事は河津下田道路建設工事に伴う河津町小鍋地区において、本線道路のL型擁壁工施工に先立ち深礎杭8本を施工する工事である。

また、松崎町南郷地区建設発生土受入れ地の仮橋撤去、借地部の復旧、及び下田市加増野地区建設発生土受入れ地において、伐採処分、盛土及び排水構造物等を施工する工事である。

工事名 : 令和2年度 河津下田道路 小鍋地区道路建設工事
発注者 : 国土交通省 中部地方整備局 沼津河川国道事務所
工事箇所 : 静岡県賀茂郡河津町小鍋 ~ 静岡県賀茂郡松崎町南郷地先
工期 : 令和3年2月26日~令和4年2月28日
工事概要 : 道路土工 1式、擁壁工 1式 (深礎工φ3000 4本、φ2500 4本)
舗装工 1式、構造物撤去工 1式、仮設工 1式

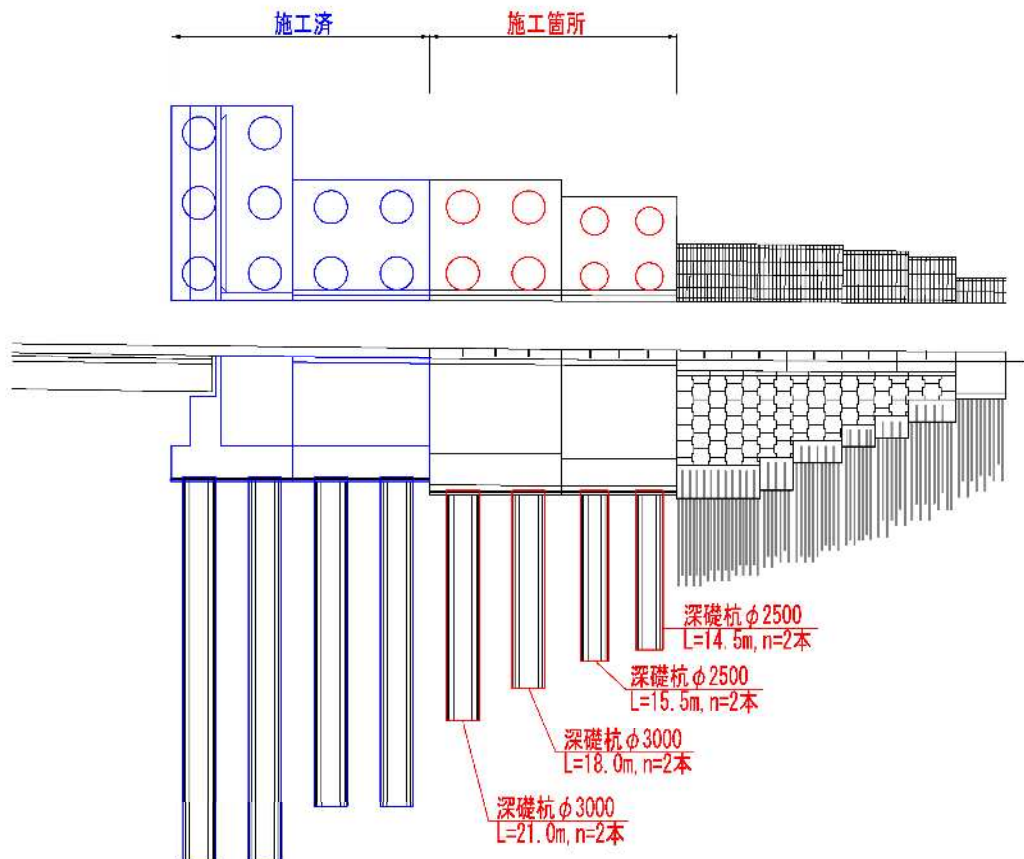
位置図 :



2. 工事現場における問題点

本工事は、静岡県賀茂郡河津町小鍋地内における河津下田道路建設に伴う、本線道路のL型擁壁基礎工（深礎杭φ3.0m 4本、φ2.5m 4本 計8本）の施工を行う工事である。

本工事着手前状況



当地域では、河津下田道路の1号橋（橋台2基、橋脚5本）の建設及び、1号橋から下田側へ約50mの位置にはトンネルを建設する工事を継続して行っている。

完成イメージ



工事の施工に先駆け近隣住民等へ工事着手の挨拶及び工事内容の説明を行ったところ、過年度から継続して工事を行ってきたことで、工事現場から昼夜問わず発生する騒音・振動への不満の声が多く寄せられた。

また、トンネル工事の掘削及び、橋台、橋脚の基礎には深礎杭が計画されており、いずれも掘削には火薬を用いた発破掘削が計画されており、当工事でも発破掘削の計画である。

工事内容の説明時、近隣住民から発破掘削の有無についての質問が多く、また、前年度の施工業者は火薬を使用しない低振動破碎工法で施工を行っていたので、同工法で施工出来ないかとの要望もあった。

以上のことから当工事では工事を円滑に進めるため、地元との協力体制を確立し、近隣住民への対応として工事現場から発生する騒音・振動の抑制並び、軽減についての対応策が課題となった。

3. 対応策・改善点と摘要結果

1) 動力電源による夜間の騒音抑制

深礎工の掘削に伴う湧水の排水に用いる排水ポンプは、作業時のみの運転では夜間の排水ポンプ停止時に深礎内へたまった湧水の排出に時間を要し、作業時間に影響が生じるため、24時間常時稼働することになる。

本工事の施工地域は、主要道路から離れているため、夜間は静寂に包まれ、エンジン音が周囲に響き渡ることになる。

このため、仮設電気（動力200V、100V）を引き込み夜間の電力として使用することで、エンジン式発電機のエンジン運転による夜間の騒音・振動を抑制した。



2) 低振動破碎工法による掘削

工事着手時の近隣住民への工事内容説明時に要望があった低振動破碎工法（ロックラック）について、発注者主任監督職員と協議し、当工事現場においても施工に用いることとした。

なお、工事説明時に害獣駆除等を行っている近隣住民より、破碎前の周知の為のサイレンを鳴らすと、飼い犬が吠えることで周囲に迷惑をかけるため、サイレンを鳴らさないでほしいと要望があり、破碎作業を行う前日及び当日の破碎前に近隣を周り、直接これから破碎を行うことを周知したことで、事前に破碎音に身構えることが出来たため、破碎音への驚きが減少したとの言葉を頂くことが出来た。

また、破碎時の騒音・振動の具体的な数値の確認を振動計、騒音計で計測したことで、近隣住民等への説明時に数値を根拠に説明できたことで、より理解を得ることが出来た。



3) 地元住民と共同で行った道路清掃

地元小鍋地区では年に2回町道の草刈りを行っている。高齢化が進み若い人員が集まらないとのことで地元地区との協力体制を築くため、河津下田道路の工事関係者で協力し作業の手伝を行った。

また、同地区では農地所有者による農業用水路の草刈り、清掃を年2回行っており、これについても河津下田道路の工事関係者で協力し作業の手伝を行った。

地元住民との共同作業により連帯感が生まれ、意見交換等に役立てることが出来た。



4) 地元河津川漁業協同組合との稚鮎放流

地元河津川漁業協同組合では年に2回河津川の各地で稚鮎の放流を行っている。

地元地区との協力体制を築くため、河津下田道路の工事関係者で協力し稚鮎放流作業の手伝を行った。

地元河津川漁業協同組合との共同作業により連帯感が生まれ、意見交換等に役立てることが出来た。



5) 大雨による土砂災害の復旧

地元地権者からの要望に応じ、大雨による崩落土砂の撤去、法面の保護を行った。

施工前



施工後



4. 終わりに

本工事の施工にあたり発注者をはじめ関連工事業者、地元住民等との協力及び連絡調整によって、工事施工中のトラブル等が発生することなく、近隣住民との良好な関係を築くことが出来、無事故により工事を完工することができた。

当地域での河津下田道路建設工事は今後も継続して工事が発注されることとなりますが、引き続き地元住民等と良い関係を築いていきたいと思ひます。

完成状況

